

# 持続可能な観光地域づくり 実践的シンポジウムin仙台

— 観光を「地域マネジメントの手段」として捉え直す —

日時：令和8年5月28日（木） 13:00～ 16:30

会場：仙台国際センター

主催：一般社団法人 JARTA

対象：自治体・DMO関係者、観光関連事業者等

■観光を地域の未来を左右する行政課題としてどう捉えるか。いま自治体には、集客だけでなく住民の暮らしや地域資源を守るマネジメント視点が求められています。インバウンド増による経済効果の一方で、混雑やマナー問題、行政コストの増大が深刻化しています。「観光客の満足」と「住民の幸福」のギャップを埋めるには、単なる集客施策ではなく、地域全体を統治する「マネジメント」としての視点が不可欠です。

■ JARTAが提唱する「点・線・面」のマネジメント

点：各地に存在する宿泊・観光事業者の役割を明確化

線：旅行会社が架け橋となることで、宿泊・観光事業者の取り組みと価値を点から線へと繋ぐ

面：点から線そして面へと展開する際に、自治体・DMOの地域マネジメントが不可欠 ⇒ サステナブルツーリズムの国際基準を活用し、地域運営で具体的な行動へどう落とし込むかを徹底討論します

当日は国際認証制度、旅行会社の実務、アドベンチャーツーリズム、サイクルツーリズムなど、第一線で活躍するスペシャリストが集結。点・線・面で観光を整理し、東北から全国へ応用可能な持続可能な観光地域づくりの視点を共有する貴重な場となります。

ご関係のみなさまにの積極的なご参加を期待いたします！

参加の申し込みは[こちら](#)から（前日5月27日まで）

## ■ なぜ、仙台（東北）なのか

東北は、豊かな自然と暮らしが寄り添い、震災後の歩みの中で「持続可能な観光」を実践として育ててきた地域です。地方都市が抱える課題が凝縮される一方で、全国に先んじて挑戦を続けてきた実験の場でもあります。本シンポジウムでは、東北・仙台を起点に、地域の経験から導かれる観光マネジメントの視点を共有し、他地域にも生かせる学びを探ります。

## ■ プログラム概要

基調講演：JARTA代表理事 高山 傑

「東北が東北であり続けるために——質で選ばれるための国際基準の活用」



## ■ 事例講演

- (株)北海道宝島旅行社 代表取締役 鈴木 宏一郎：旅行会社によるTravelife活用の実際
- 北海道アドベンチャートラベル協議会会長 荒井 一洋：アドベンチャートラベルにおける地域資源とサステナビリティ
- (株)ライダス 代表取締役 井上 寿：サイクルツーリズムとオーバーツーリズム課題への対応

閉会挨拶：(株)穴吹トラベル 代表取締役 阿部 有香

モデレーター：(株)インアウトバウンド東北 代表取締役 西谷 雷佐



## ■ 自治体関係者にとっての期待される成果

- 観光地域づくりを整理するための共通フレーム（点・線・面）の獲得
- 観光施策を検討する際の行政としての視座の整理
- 認証制度を地域施策にどう位置づけるかという実践的な考え方
- 旅行会社・観光事業者との役割分担・連携の明確化
- 他地域にも応用可能な持続可能な観光地域づくりモデルの共有

## ■ 交流・ネットワーキング

シンポジウム終了後、登壇者・参加者による交流会を開催します

## ■ 開催概要

- 会場：仙台国際センター 展示棟 会議室3（QRコード参照）  
宮城県仙台市青葉区青葉山 8-1 電話022-265-2211
- 主催：一般社団法人JARTA (Japan Alliance of Responsible Travel Agencies)
- (※共催・後援：調整中)
- 定員：60名
- 本イベントは現地開催のみとなっており、オンラインでのライブ配信や後日のアーカイブ配信は予定しておりません。ぜひ会場に足をお運びいただき、現地の空気感とともにプログラムをお楽しみいただけますと幸いです。



〒604-8006 京都府京都市中京区下丸屋町403番地  
Tel: 075-777-1244 / Email: secretariat@jarta.org / W: <https://www.jarta.org/>

